

特集

町民の 生命・財産を守る

町消防署の活動

9月9日は、数字にちなんで「救急の日」であることをご存じですか？
町消防署においても、救急の日だけでなく、日々町民の安全を守るために隊員が働いています。
しかし、その業務の内容を知っている方は少ないのではないのでしょうか？
今回は、町消防署の1日を追ってみました。

消防署の構成

消防署は火災や救急・救助、その他の災害に迅速に出場できるように、3つの中隊（1隊13名）から構成されており、24時間の交代制で勤務しています。



消防署外観

昼間は、車両や資器材、消火栓等の点検や各種訓練に充て、夜間については、体力訓練、消防についての教養を深めながら、交代で緊急事態に備えています。次に掲げるスケジュールは、緊急出場がない場合の一日の大まかな流れとなっています。



車両は出場に備えている

消防24時

スケジュール

8：30 大交代・申し送り
中隊の交代時間です。昨日からの引継ぎや本日の予定などの打ち合わせを行います。



ミーティング

9：30 車両・資器材点検
消防署に配備されている消防自動車や各種機材を点検し、緊急出場に備えます。



機械器具点検

10：30～12：00
体力練成・各種訓練
水利調査・立ち入り検査



救助訓練

消防は体が資本の仕事です。そのために体力づくりや

消防署員に聞く

～安心安全な暮らしのために～



伊奈町消防署
第1中隊長
江川正夫さん

平成16年7月からAEDの使用が一般の方に認められましたね。

そうですね。それに伴い、町消防本部でもAEDの使用方法を取り入れた普通救命講習会を昨年の6月から実施しています。本年8月1日現在で553名の方に受講いただきました。このことが大切な命を救う手助けになればと思っています。

特に心疾患（心筋梗塞や不整脈）により心臓が止まった傷病者の命を救うには心肺蘇生のほかに、心臓への除細動（電気ショック）を行うことがとても重要なことです。除細動を行う時間が遅くなるほど、社会復帰率が低下しますし、昨今の交通事情によって救急車の到着時間は平均6分以上かかっていることから、現場にいる方にぜひともAEDを活用していただきたいのです。町内においてもすでに3件の事例でAED活用によって一命を取りとめています。

消防本部では今後も講習会を開催していきますので、お気軽にお問い合わせをいただきたいと考えています。

次に防火に関しての心得を教えてください。

防火に関するポイント

火の用心 7つのポイント

- 1 家のまわりに燃えやすいものを置かない
- 2 寝たばこやたばこの投げ捨てをしない
- 3 天ぷらを揚げるときは、その場を離れない
- 4 風の強いときは、たき火をしない
- 5 子どもには、マッチやライターで遊ばせない
- 6 電気器具は正しく使い、たこ足配線はしない
- 7 ストープには、燃えやすいものを近付けない

119番通報のかけ方を教えてください。まずは落ち着くことですね。

- 1 正確に119番をダイヤルしてください。
- 2 119番伊奈町消防署では「火事ですか、救急ですか」と種別、場所を聞きますので、場所は住所か目標を教えてください。
- 3 その後は、必要なことを問いかけますので、落ち着いて教えてください。



水利調査（消火栓の確認）

隊に引継ぎを行います。その後、次に次の勤務となる車両点検を行います。署員は起床後、清掃および車両点検を行います。13名で構成される中隊は、2時間交代で指令室勤務を行います。ながら、仮眠を取ります。6：30～8：30 起床・署内清掃・車両点検・大交代



正しい利用が命を救う

各種訓練は欠かせません。また、そのほかに消火栓の動作確認や消防法に基づく企業等への立ち入り検査なども行っています。

12：00～13：00 昼食・休憩

13：00～14：30 各種訓練・水利調査
立ち入り検査・教養

午前中に引き続きの実務です。消防や救急には体力だけでなく、高度な専門知識が求められるため、教養を深めることも必要となります。

14：30～17：30 地理調査・車両点検
町内の地理調査やパトロールに出かけます。帰署後、車両点検を行います。

17：30～18：00 夕食

18：00～22：00 体力練成・教養・検討会等
各隊員は夕食後、それぞれが体力練成や教養などに時間を充て、緊急の出場に備えています。

22：00～6：30 仮眠時間

このように町消防署では、みなさんの生命・身体・財産を守るために働いています。取材当日も町内で火災が発生し、119番通報を受けた隊員は現場へ出動してまいりました。消防署ではこのような活動のほか、救命活動の啓発のため、町民・企業などを対象にした講習会を開催しています。特にAEDの普及が進みつつあるため、止血法などの応急処置のほか、その使用方法についての内容を強調しています。

AED（自動体外式除細動）を正しく理解しよう

心筋梗塞などが起きた場合、放置すると死に至ることもあるため、その防止策として心肺蘇生法とAEDを用いて除細動（電気ショック）を行う必要があります。町施設では現在、総合センター、ゆめくるに配置されています。その使い方は次のとおりです。

